

【企画財政部、福祉部、保健医療部及び産業労働部の部局別質疑】

◆高木真理委員

3点、最初の2点は福祉部長に伺います。

前の質疑者の中で出てきているところもあるので、少し確認的なところもあるかもしれませんが伺います。

まず、元年度の補正の方で、マスク、消毒薬の緊急調達や施設の洗浄ということで予算がついておりますけれども、これ、国から10分の10で、お金が来るのはいいんですが、お金が来ても今、物が無いという状態の中で、先ほど消毒薬についてはお答えがありましたけれども、マスクも含めてですね。

これ、お金が来て、できたらルート为国の方が押さえているんだったら、物でくれればいいのになという思いがするわけです。各都道府県が競って、ないものを探し回るのも、とても労力が大変だなと思います。ただ、今国の方でも、物流をいろいろ押さえつつあるようなので、先ほど、優先調達のことに関しての示唆はあるというようなことでありましたけれども、現物の調達見込みのルート为国が整えてくれているようなことがあるのかというところ、マスク、消毒薬について、両方伺いたいと思います。

○小林哲也委員長

知久清志福祉部長。

◎福祉部長

マスク、消毒薬の確保方法でございますが、消毒液につきましては、先ほど御答弁申し上げたとおり、国がスキームをつくりまして、希望を取ってというルートができつつあるのですけれども、マスクにつきましては、まだ、一括購入に要する補助金は盛り込まれておりますけれども、具体的な調達方法については示されていないのが現状でございます。

○小林哲也委員長

高木真理委員。

◆高木真理委員

そうすると、マスクについては、かなり苦勞して、これから探し回るということになるのでしょうか。

○小林哲也委員長

知久清志福祉部長。

◎福祉部長

現在マスクの調達に向けまして、卸でありますとかメーカーに問合せをしているところでございます。引き続き業界と、小売りなども含めまして交渉して、速やかな調達に努めてまいりたいと思います。

また、併せて国にも、マスクの調達について、委員お話しのとおり、自治体を支援してもらおうよう、し

っかりとお願い申し上げていきたいと考えております。

○小林哲也委員長

高木真理委員。

◆高木真理委員

では、御努力大変かと思えますけれども、よろしく願いをいたします。

福祉部、もう1問と言っていたんですけれども、多床室の個室化のところは、先ほどの江原議員の質問で出ておりましたので、確認と思いましたがけれども飛ばします。

次、保健医療部長に伺います。

こちら令和元年度の予算の方で、入院医療機関の体制強化ということで、人工呼吸器、あるいは体外式膜型人工肺、ECMOの購入が予定されているところでありますが、イタリアは今、人工呼吸器が足りなくて、現在救命に影響している状況だということの背景を報道で聞きました。国際的に比較しても、人工呼吸器が、人口当たりの数がどうも少ないという状況があるみたいなんです、そこ、日本では大丈夫なのかということと、あと、ECMOが必要とされている場面は、どんな場面で使用するのか。

結構これも、実は台数があつた方がいいのではないかなと思うんですけれども、伺ったところ、東西1台ずつということなんです、これでは重症化した患者さんに使うということがかなりの頻度で必要だとすると、足りないのではないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

○小林哲也委員長

関本建二保健医療部長。

◎保健医療部長

まず、台数についてでございますが、人工呼吸器については10台、ECMOについては4台ということでございますが、現時点で逼迫しているという状況にはまずございません。

その上で、今後の感染の拡大、重症者の増大を見据えまして、補強するということでございますが、あくまでも、これは当面の対応ということございまして、ピーク時に合わせて整備をするというものはまだございません。

今後、更に感染が拡大する場合には、更なる対応をしていくというものでございます。

○小林哲也委員長

以上で、民主フォーラムの質疑は終了いたしました。

次に、公明から発言願います。